

## U09b 原子核はどのようなものであるか。それを調べる検証方法

小堀しづ

原子核の大きさは約  $10^{-14}$  m です。どうして原子核の大きさは約  $10^{-14}$  m であるか。原子核の大きさは陽子のラブの公転軌道を示す。陽子のラブの質量エネルギーは  $1.503 \times 10^{-10}$  J です。陽子のラブの公転軌道は、 $8.665 \times 10^{-24} \text{Jm} \div \text{陽子のラブの質量エネルギー} = 8.665 \times 10^{-24} \text{Jm} \div (1.503 \times 10^{-10} \text{J}) = 5.765 \times 10^{-14} \text{m}$ 、です。この公転軌道に全ての陽子のラブがランダムに回転している。陽子のラブの比重は  $5.779 \times 10^{83}$  で、とても重い。全ての陽子のラブが  $5.765 \times 10^{-14} \text{m}$  の公転軌道をランダムに回転しているので、硬い凹凸のない球体である。この内側を中性子のラブが公転している。中性子のラブの公転軌道は、 $8.665 \times 10^{-24} \text{Jm} \div \text{中性子のラブの質量エネルギー} = 8.665 \times 10^{-24} \text{Jm} \div (1.5038 \times 10^{-10} \text{J}) = 5.762 \times 10^{-14} \text{m}$ 、です。(特願 2019-119178) 従来、原子核の中には、陽子と中性子が混合して存在すると考えられている。これを検証するには、原子核に電磁気を当て、反射光の方向を調べる。一定方向に反射するはずですが。従来の考えの場合、反射光は不規則の方向に反射する。(特願 2019-127350)